

保健師便り

2025.9 Vol.86

この判定、どうしたらよい？～判定E・D3の解説～



健康診断（健診）は現在の体の状態を知り、病気の予防に役立てたり、早期発見・早期治療につながる大切な機会です。

今回からはお問い合わせいただくことも多い各判定ランクの意味合いとその判定だったときにどう行動したらよいかについてご案内します。

当協会では結果に応じて、次の8つの判定ランクを設けています※。

A:異常なし C1:経過観察 C2:次回健診 D1:6か月後再検査
D2:3か月後再検査 D3:再検査 E:要受診 F:主治医相談

※当協会では標準的に採用している判定についての解説です。事業所や健診主体によって判定が異なることがあります。

○速やかに専門医へ受診していただきたい『E:要受診』

検査値においては基準範囲からの逸脱が**要医療の範囲**であること、また、画像検査項目（レントゲン検査や超音波検査など）に関しても同様で、**速やかに医療機関を受診し専門医の判断や更なる精密検査が必要**であるものです。

<次の行動!!>

結果受領後、**出来るだけ早めに結果報告書を持って医療機関を受診してください**。受診科は**結果報告書の表面**※に文章でご案内していますが、ご不明な場合は当協会までお問い合わせください。医療機関はご自身で選択でき、規模は問いません。受診費用は保険診療によるご負担となります。※当協会ではE判定の診療はお受けできません。



<検査項目別の受診科例>

胸部レントゲン検査：肺の異常なら「**呼吸器科**」

心臓、血管の異常なら「**循環器科**」

骨の異常なら「**整形外科**」 など

便潜血検査：**大腸カメラ**が受けられる「**消化器科**」「**胃腸科**」

血圧測定/心電図検査：「**循環器科**」

尿検査：尿蛋白なら「**内科**」、尿潜血、尿沈渣なら「**泌尿器科**」

腹部超音波検査：肝臓/胆のう/膵臓/脾臓の異常なら「**消化器科**」

腎臓の異常なら「**泌尿器科**」あるいは「**腎臓内科**」

血液検査：主に「**内科**」（肝機能検査異常なら「**消化器内科**」、脂質検査異常なら

「**消化器内科**」「**循環器内科**」、糖代謝検査異常なら「**糖尿病内科**」「**内分泌科**」など）

マンモグラフィ、乳房超音波検査：「**乳腺（外）科**」

子宮検査：「**婦人科**」

○速やかに再検査をお受けいただきたい『D3：再検査』

基準範囲からの逸脱がありますが、今回の結果からは異常の有無を断定できないため、医療機関での再検査（あるいは精密検査）が推奨されます。

<次の行動!!>

結果受領後、**早めに結果報告書を持って医療機関で再検査を受けてください**。内科のかかりつけ医がある方は主治医への相談、ない方はお近くの内科（クリニックや診療所など）を受診しましょう。

※当協会では再検査はお受けしておりません。



自覚症状は何もないけど、受診は必要？

健診は自覚症状がない段階での病気の発見や進行を防ぐことが目的です。受診をお勧めします。



コレステロールが高いけど、病院で薬が出されたら一生飲み続けなければいけないんですよね？

内服による治療と並行して「生活習慣の改善」を続けていけば薬の減量や中止が可能なことはありますよ。かかりつけ医のもとで定期的に検査値を確認しながら相談してください。



当協会のホームページでは、各検査項目の解説も掲載しています。あわせてご覧ください。[一般健康診断の検査結果](#) | [一般財団法人 京浜保健衛生協会](#)
次回も判定ランクの解説をしていきます。



一般財団法人

京浜保健衛生協会

FOR HEALTHY LIFE

この記事は、神奈川県川崎市高津区にある健診機関「京浜保健衛生協会」が執筆・監修しています。人間ドック/巡回健診/女性のための健診/がん検診など、健診でお悩みの際はお気軽にご相談ください。



一般財団法人 京浜保健衛生協会